

## 総合的な探究の時間における「蘭越町模擬議会」

北海道蘭越高等学校 学級数 3 (校長 守田 英樹)

### □ 実践の概要

本校では、3年生の「総合的な探究の時間」で模擬議会を実施している。町議会定例会と同様に、開会から一般質問までを行っており、今年度で 22 回目となる。本取組は、行政や地域社会についての課題を分析し、解決に向けた提言を行うものであり、3年間行ってきた本校の探究活動の集大成として位置付けられている。

#### 1 実践の目的

蘭越町を含めたニセコ地域の環境は、高齢化や人口減少が進む一方で、インバウンド需要の高まりに伴い、大きく変化してきている。蘭越町の行政や地域社会への関心を高め、課題の解決策を探究する活動を通して、生徒の主権者としての必要な資質・能力を育み、主体的に政治に参加する意識を養う。

#### 2 実践内容

##### (1) 実施計画

「総合的な探究の時間」の探究課題として、次のテーマを設定し、1、2年生では地域社会に関わる探究活動を通して学びを深め、3年生では探究活動の総まとめとして町議会への提言を行う。

- 1年生：「地域の自然環境を知る」…探究活動に必要な基礎的な技法を学び、学んだ技法を活用し、地域の自然環境について探究する。
- 2年生：「地域の産業と文化を知る」…街の産業やその役割、現状と課題などを探究することを通して、自らが社会で果たすべき役割を考え、主体的に社会へ参加する意識の醸成を図る。
- 3年生：「地域社会の課題を知る」…地域の経済・教育・福祉・町づくりなど、各自が興味・関心のある分野について探究する。

##### (2) 取組の具体

蘭越町模擬議会は、生徒が議員・議長・副議長役を務め、町長、特別職、各課局長が出席する町議会議場で開催された。一般質問に5人の生徒が登壇し、次の内容を提言した。なお、提言に対する答弁内容については、町議会での一般質問と同様に、町の各担当課が事前に検討を重ね、当日は金秀行町長が答弁を行った。

《一般質問に出された高校生からの提言》

- ・蘭越町のPRにおけるインスタグラムの活用について
- ・蘭越町の防災訓練の実施方法とその内容について
- ・外国人移住者の獲得に向けた取組について
- ・消滅可能性都市の視点から考える蘭越町の子育て支援について
- ・現在の姉妹都市との交流と今後に向けた取組について



【模擬議会 一般質問の様子】

##### (3) 取組後の点検・評価、工夫改善

- ・生徒の振り返りシートには、「自分から発信すること、異なる意見や考えを取り入れることが大切であることを学んだ」、「提言資料の作成を通して、情報を収集し、分析する力が上がった」といった記載があり、生徒の主権者としての必要な資質・能力や主体的に政治に参加する意識が醸成されたと考える。
- ・今年度の課題として、模擬議会での5つの提言内容の分野について、多少の偏りが見られたことが挙げられる。次年度以降は、生徒が多様な視点をもって町の課題や解決策を主体的に考えることができるよう、各学年の探究活動における課題の設定について、指導を工夫していく必要がある。

##### (4) 改善後の取組

2年生が模擬議会を傍聴しており、今年度の3年生の活動における成果や課題を踏まえ、多様な視点から課題を設定することができるよう、情報の収集や整理・分析等を行っていく。

#### 3 実践のポイント

- ・本校の目指す生徒像の育成に向けて、本取組を含めた「総合的な探究の時間」とその他の教科・科目について、教科等横断的な視点で学習内容を組み立てたこと。
- ・学校設定科目「地域と自然」、「地域とスポーツ」等において地域や蘭越町について様々な角度から学びを深めたり、「保育基礎」において保育園児を招待し、「蘭越高校あそび広場」を開催したりするなど、生徒が地域の社会人や子どもたちなど多様な他者と関わる機会を教育活動の中に取り入れたこと。